

暮らしを支える縁の下の力持ち!

目黒区議会議員 小林かなこ

かなこ元気 NEWS

KANAKO KOBAYASHI

ニュース Vol.17

(発行) 目黒区議会議員 小林かなこ 〒152-0011 目黒区原町1-12-2-201 電話:03(6303)2628 FAX:03(6303)2632

今年度は特別委員会の委員長として、
区民センター周辺の大規模再開発や
区立学校の建替え等の区政運営に携っています。

区有施設の更新には、今後30年間で2000億円を超える予算がかかる見込みです。民間の力を活かし、区の財政負担を減らしながら、安全で機能的、そして目黒の歴史と文化を継承していくような施設整備に取り組んでまいります。



現場目線で
お役に立ちます!

3期目も

一般質問

備蓄食料・飲料水は捨てずに有効活用!



かなこ's EYE

目黒区ではこの度、災害時用の備蓄飲料水の入れ替えに伴い約3000万円の契約を結びましたが、使われることのなかったペットボトルの水、約216t(2Lのペットボトル約11万本分)の回収経費には廃棄料も含まれていました。

賢く使い切れば、その分税金を使わずに済んだのでは?
と疑問を抱き、議会で取り上げました。



かなこ
質問

横浜市では賞味期限が切れた備蓄食料を資源化するなど、積極的に有効活用している。廃棄量削減と食品ロスの観点から、備蓄の役割を終えた飲料水は生活用水に、食料は資源化する取り組みを目指すべき。



区長
答弁

食品ロスが減る効果の他、生活困窮者への支援や環境面での効果も期待できることから、有効活用を推進していかたい。ご意見いただいた新たな取り組みも積極的に検討していく。



かなこ
質問

今回のように大量の入れ替えが起きた年には、計画的に区民への無料配布、学校や町会・自治会などの区内団体等での有効活用を促進すべき。



区長
答弁

昨年発表された被害想定の改定により、新たな計画で備蓄することになった。訓練やイベントで等での活用の他、HP等を活用して年度内の提供可能な数量を周知するなど、新たなPRについても検討していく。



かなこ
質問

区では備蓄飲料水の購入に3110万円余の契約を結んだが、これには賞味期限の近い約1万8千箱、約216トンの回収経費も含まれている。回収分については業者に有効活用するよう依頼しているが、活用実績と廃棄量は?



区長
答弁

保存期限を迎える約1年前から、防災訓練やイベント、学校等で活用を図る他、フードバンクにも提供している。この3年間廃棄処分はなかったが、今年度は入替え対象が多い年にあたり廃棄が出たことは誠に遺憾。今後は無駄にせず、廃棄しない数をきちんと把握して対応していく。

お家の備えは大丈夫?

感震ブレーカーの普及を推進するため、
目黒区では木密地域を対象に

**感震ブレーカーアダプターを
無償で配布しています!**

是非ご利用ください!

対象地域

目黒本町4~6丁目、原町1・2丁目、洗足1丁目、
祐天寺1丁目の地域内の居住者、事業者

(詳細は区のHPをご確認ください)

申請期限

令和6年1月末日

お問合せ先

目黒区防災課

03-5723-8700



お申し込みは
こちらから



どうなる?地域避難所



向原小学校はプール解体工事が終わり、現在仮設校舎の工事を行なっています。令和9年度に新校舎が完成するまでは既存の体育館を残すため、

災害時の避難所としてそのまま機能します。

令和7年度には、区立第七中学校の校舎に新たに「目黒区立南中学校」が開校し、統合する第九中学校の解体工事が同年4月から予定されています。九中の場所に新校舎が完成するまでの



工事期間中は、第九中学校には避難できません!

この間、原町小学校、碑小学校、第七中学校が最寄りの地域避難所となります。

目黒区長選挙 の日にちが決まりました!



小林かなこ プロフィール

KANAKO KOBAYASHI

▶山形県出身 ▶筑波大学卒業 2015年初当選 ▶自民党所属
▶(公社)日本空手協会3段、防災士、原町一丁目町会、目黒消防団第8分団 ほか

小林かなこ 公式HP

小林かなこ 検索



小林かなこ 公式SNS

情報発信中!



Facebook

日々の活動はこちらで!



Instagram

日々の活動はこちらで!

